

京畿道楊州市及び仁川江華郡所在の豚農場各 1 か所でアフリカ豚コレラ疑い畜の申告

9 月 26 日、農林畜産食品部は、京畿道楊州市及び仁川江華郡所在の豚農場各 1 か所でアフリカ豚コレラ疑い畜申告があったとの報道資料を発出したところ概要以下のとおり。

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmc mEIMkY2OCUyRjMyMTQ3MSUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRg%3D%3D>

【見出し】

京畿道楊州市及び仁川江華郡所在の豚農場各 1 か所でアフリカ豚コレラ疑い畜の申告

【本文】

農林畜産食品部は 9 月 26 日、京畿道楊州市隱頭面所在の豚農場（550 頭飼育）の農場主がアフリカ豚コレラ（ASF）疑い畜(妊娠豚 1 頭へい死)を京畿道に申告し、仁川江華郡河帖面所在の豚農場（2,000 頭飼育）でも農場主が ASF 疑い畜(子豚 1 頭へい死等 )を河帖面に申告したと明らかにした。

農食品部は、申告後直ちに該当農場に初動防疫チームを投入して 人、家畜や車両等に対する移動統制、消毒など緊急防疫措置を実施し、畜産農家や関係者に対して消毒など徹底した防疫措置の履行と迅速な疑い畜の申告を呼びかけた。

(以上)